

トンボから見た大原の環境

「近畿のトンボ¹⁾」によると、京都府には 94 種類のトンボが住んでいます。それらが住む場所は水域ごとに決まっています。トンボの住む水域を「トンボ類を指標とした流域環境の評価に関する試み²⁾」を参考にして 9 つに小区分して、94 種を分類してみました（表 1）。

その次に、大原で記録された 42 種³⁾を表 1 に入れ込みました（表 1 の○印）。各小区分の名称の下の数値は、京都府での記録種数、大原での記録種数の順です。京都府での記録種数に対する大原での記録種数の各割合（％）を図 1 に示しました。これによると、大原での種数の割合が 50％以上ある小区分が 4 つありました。水田が 67％、緩流（ゆるやかな流れ）100％、上流～下流 85％、源流 71％でした。大原のトンボはこの 4 つの水域で多く記録されていると言えます。これは大原の立地条件をよく表しています。

- ・水田：大原の盆地には多くの水田があります。
- ・緩流：水田の周囲を取り巻く水路がこれにあたります。
- ・上流～下流：高野川の本流を意味しています。
- ・源流：大原の盆地は山が迫っているので、源流に当たる流れがたくさんあります。

この結果から大原は、高野川が流れ下り、周囲に水田が広がっている。豊富な水が周囲の山々から湧き出てきて、水田とその周辺を潤している、というわたちが毎日見ている大原の美しい環境を、生息しているトンボが明らかにしてくれていると言えます。この 4 つの区分に高い密度でトンボが住み続けることができるように、これらの水域の環境を守っていきたいものです。

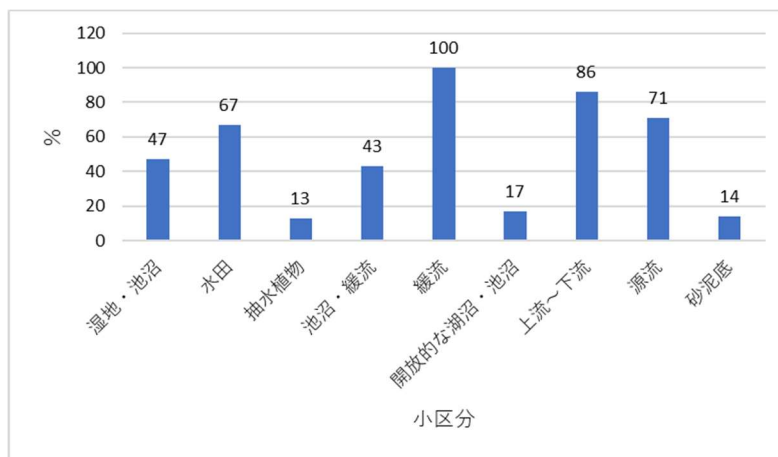


図 1 京都府での記録種数に対する大原での記録種数の各割合

表 1 京都府で記録があるトンボの水域による分類と大原での発見種

大区分	中区分	小区分	京都府で記録がある種	大原で発見された種
止水性～ 緩流性	山地～平 地	葦地・池 沼 15 7	ヒメアカネ	○
			エゾトンボ	
			ハッチョウトンボ	
			ムカシヤンマ	○
			マルタンヤンマ	
			サラヤンマ	○
			ハラビロトンボ	○
			ネキトンボ	
			タカネトンボ	○
			リスアカネ	
			コシアキトンボ	
			ヤブヤンマ	○
オオアオイトトンボ	○			
タベササエ				
マダラニワトンボ				
抽水植物	水田 12 8	ウスバキトンボ	○	
		コノシメトンボ		
		ノシメトンボ	○	
		ナツアカネ	○	
		アキアカネ	○	
		シオカラトンボ	○	
		モートンイトトンボ		
		マユタテアカネ	○	
		カトリヤンマ		
		オオシオカラトンボ	○	
		シオヤイトトンボ	○	
		コササエ		
		ヨツボシトンボ		
		キイトンボ		
		ルリボシヤンマ		
ネアカヨシヤンマ				
アオイトトンボ	○			
オツネントンボ				
アジアイトンボ				
オオルリボシヤンマ				
マイコアカネ				
チョウトンボ	○			
ベッコウトンボ				
アオヤンマ				
トラフトンボ				
ベニイトトンボ				
オオイトトンボ				
開放的な 湖沼・池 沼	池沼・緩 流 14 6	オオキトンボ		
		キトンボ	○	
		ホソミイトトンボ		
		キイロササエ		
		フタスジササエ		
		モノサシトンボ	○	
		クロスジギンヤンマ	○	
		クワイトトンボ		
		ハネビロエゾトンボ		
		ムスジイトトンボ	○	
		セスジイトトンボ		
		アオハダトンボ	○	
		グンバイトンボ		
		ニホンカワトンボ	○	
		緩流	丘陵地～ 平地	ミヤマアカネ
ホソミツオウネントンボ	○			
コヤマトンボ	○			
コシボシヤンマ	○			
ハグロトンボ	○			
ショウジョウトンボ				
ナニウトンボ				
アオモナイトンボ				
オオヤマトンボ				
メガネササエ				
ギンヤンマ	○			
ウチワヤンマ	○			
タイリクアカネ				
コフキトンボ				
オグマササエ				
タイワンウチワヤンマ				
コバネアオイトトンボ				
上流～下 流	上流～下 流 7 6	オニヤンマ	○	
		コオニヤンマ	○	
		ミヤマカワトンボ	○	
		アサヒカワトンボ		
		ヤマササエ	○	
		ダビドササエ	○	
		オナガササエ	○	
		クロササエ	○	
		ムカシトンボ	○	
		ヒメクロササエ	○	
		ヒラササエ	○	
		ヒメササエ	○	
		オジロササエ	○	
		ミルンヤンマ	○	
		源流	源流 7 5	ホンササエ
アオササエ				
オオサカササエ				
キイロヤマトンボ	○			
ナゴヤササエ				
砂泥底	砂泥底 7 1	ヒメヤマトンボ		
		ミヤマササエ		
		ササエ		
		ササエ		
		ササエ		
合計		94	42	

1) 山本哲央・新村捷介・宮崎俊行・西浦信明：近畿のトンボ、いかだ社、2009
2) 東川航・森照貴：トンボ類を指標とした流域環境の評価に関する試み、土木技術資料 65-4、18-21、2023
3) 大原のオオムラサキを守る会：3 つの調査結果から見た大原のトンボ(1)、大原の里と比良の山 10、3-7、2025